

13. 都市デザイン学部

(1) 都市デザイン学部の教育目的と特徴	13-2
(2) 「教育の水準」の分析	13-3
分析項目Ⅰ 教育活動の状況	13-3
分析項目Ⅱ 教育成果の状況	13-8
【参考】データ分析集 指標一覧	13-10

(1) 都市デザイン学部の教育目的と特徴

1. 教育目的

自然科学と科学技術を基盤とし、社会科学の要素を加味した「自然災害の予測やリスク管理、社会基盤材料の開発、都市と交通の創造」に係わる特色ある国際水準の教育・研究を行い、デザイン思考に基づいた創造力を持って問題の発見・解決のできる人材を育成し、都市や地域の創生と持続的発展を通じて、人間社会と自然環境とが共生する理想的な社会の実現に寄与することを目的とする。

2. 特徴

都市デザイン学部では、人間が生活や社会経済活動、文化的活動を営むあらゆる領域を「都市」ととらえ、自然科学と科学技術の基盤のうえに、社会科学、およびデザイン・建築をバランス良く融合させ、都市や地域の創生と持続的発展を通じて、人間社会と自然環境が共生する理想的な社会の実現に寄与することを目的としている。その学際融合の手法のひとつに「デザイン思考」を取入れ、3学科の個性や専門性を失うことなく、柔軟で幅広い視野をもった創造的な人材を育成する。本学部における「デザイン思考」とは、理想を形にするためのクリエイティブな思考法であり、観察、分析、発想、試作、評価のプロセスを繰り返しながら、他分野の人間の知識や経験を互いに融合しながらチームで協創していく。そのために

- ・PBL形式の授業(全学横断PBL(選択科目)と地域デザインPBL(必修科目))の導入
- ・各学科生に必要とされる能力の学修目標の設定を行い、評価を明確にした「積算評価」
- ・日本技術者教育認定機構(JABEE)による教育プログラムの認定に向けた取組み
- ・自然と人間社会が共生できる魅力ある都市・地域づくりを構想する際に、様々な情報を収集・分析するデータサイエンスに関する授業の提供
- ・海外経験を推進する「クォーター制」の導入

を行っている。

そして、3学科では以下の教育を特徴としている。

地球システム科学科：地球の成り立ちや変動、地域の自然や環境を、富山の自然をフィールドとして学ぶ

都市・交通デザイン学科：コンパクトシティなど先進的な都市政策を進めている富山をフィールドとして学ぶ

材料デザイン工学科：アルミ産業をはじめとするものづくりの盛んな富山で学ぶ

(2) 「教育の水準」の分析

分析項目Ⅰ 教育活動の状況

<必須記載項目1 学位授与方針>

【基本的な記載事項】

- ・公表された学位授与方針（別添資料 3713-i1-1～2）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

（特になし）

<必須記載項目2 教育課程方針>

【基本的な記載事項】

- ・公表された教育課程方針（別添資料 3713-i1-1（再掲）、3713-i1-2（再掲））

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

（特になし）

<必須記載項目3 教育課程の編成、授業科目の内容>

【基本的な記載事項】

- ・体系性が確認できる資料（別添資料 3713-i3-1～3）
- ・自己点検・評価において体系性や水準に関する検証状況が確認できる資料（別添資料 3713-i3-4）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- 本学部の特徴であり、持続可能な社会の担い手のための教育として学部全教員が連携して行う学部共通科目「都市デザイン学総論」、「デザイン思考基礎」、「地域デザイン PBL」を必須科目として全学生に受講させている。加えて、2つの学問分野をまたがった連携科目として「自然災害学」（地球システム科学と都市・交通デザイン学科）、「インフラ材料」（都市・交通デザイン学科と材料デザイン工学科）、「物質科学」（地球システム科学と材料デザイン工学科）を実施している。さらに、今後を見据えて「データサイエンスⅠ」を全学生の必修科目とし、「データサイエンスⅡ、Ⅲ」を順次開設している（別添資料 3713-i3-1（再掲）、3713-i3-5）。[3.1]

<必須記載項目4 授業形態、学習指導法>

【基本的な記載事項】

- ・1年間の授業を行う期間が確認できる資料（別添資料 3713-i4-1）
- ・シラバスの全件、全項目が確認できる資料、学生便覧等関係資料（別添資料 3713-i4-2～3）

富山大学都市デザイン学部 教育活動の状況

- ・協定等に基づく留学期間別日本人留学生数（別添資料 3713-i4-4）
- ・インターンシップの実施状況が確認できる資料（別添資料なし：平成 30 年度に新設した学部であるため）
- ・指標番号 5、9～10（データ分析集）

【第 3 期中期目標期間に係る特記事項】

- 必修科目である「都市デザイン学総論」、「デザイン思考基礎」において、本学部の特徴を理想の形にするため、観察、分析、発想、試作、評価のプロセスを繰り返す“デザイン思考”を取り入れた講義を PBL 形式で行っている（別添資料 3713-i4-5～6）。[4.1]
- 平成 30 年度の学部新設時からクォーター制を導入しており、学修成果の適時的な確認や、学生がインターンシップ、ボランティア活動、留学等に参加しやすくなる環境を整備している（別添資料 3713-i4-1（再掲））。[4.1]

<必須記載項目 5 履修指導、支援>

【基本的な記載事項】

- ・履修指導の実施状況が確認できる資料（別添資料 3713-i5-1）
- ・学習相談の実施状況が確認できる資料（別添資料 3713-i5-2）
- ・社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組が確認できる資料（別添資料 3713-i5-3）
- ・履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況が確認できる資料（別添資料 3713-i5-4）

【第 3 期中期目標期間に係る特記事項】

- 入学時の学部全体でのオリエンテーションに加え、入学時と第 3 ターム開始時に各学科で学生に対する学生生活オリエンテーションを実施している。5 月には導入教育として課外宿泊合宿を実施している。さらに、助言教員制度を活用し、教務システムでの学生との面談記録の入力をターム毎に実施するようにしている（別添資料 3713-i5-5）。[5.1]
- 地球システム科学科において、1 年次から「基礎地球セミナー」を開講し、専門分野と職業の関係を講義している。また、就職についての講演会、就職関連企業技術者による特別講演会、就職に関するセミナーを実施して社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う努力をしている（別添資料 3713-i5-6、3713-i5-3（再掲））。[5.1]
- 外国人留学生については履修方法や予習復習、授業の受け方等の教務関連の問題、本学での生活上の問題について疑問などがある場合は、チューターによる課外指導

を実施している。[5.1]

＜必須記載項目 6 成績評価＞

【基本的な記載事項】

- ・ 成績評価基準（別添資料 3713-i6-1～4）
- ・ 成績評価の分布表（別添資料 3713-i6-5）
- ・ 学生からの成績評価に関する申立ての手続きや学生への周知等が明示されている資料（別添資料 3713-i6-6）

【第 3 期中期目標期間に係る特記事項】

- GP 平均値の分布と成績評価の分布の相関を検討した。また、絶対評価と相対評価について情報収集を行い、平成 30 年度に「各部局における成績評価分布の目標」を定めた。また、GPA 制度を活用した進級・卒業要件等の検討を開始した（別添資料 3713-i6-4（再掲））。[6.1]
- 学生からの成績評価に関する申立ての手続きを履修の手引きに明記し、周知している（別添資料 3713-i6-6（再掲））。[6.2]

＜必須記載項目 7 卒業（修了）判定＞

【基本的な記載事項】

- ・ 卒業又は修了の要件を定めた規定（別添資料 3713-i6-2（再掲））
- ・ 卒業又は修了判定に関する教授会等の審議及び学長など組織的な関わり方を含めて卒業（修了）判定の手順が確認できる資料（別添資料 3713-i7-1～2、3713-i6-2（再掲））

【第 3 期中期目標期間に係る特記事項】

- 卒業又は修了の要件を学部規則に明記している。4 年間の「総合積算能力評価」と 4 年次の「卒業論文発表評価」を合わせて、学修成果として卒業の可否を判断することとしている（別添資料 3713-i7-3）。[7.1]

＜必須記載項目 8 学生の受入＞

【基本的な記載事項】

- ・ 学生受入方針が確認できる資料（別添資料 3713-i1-1（再掲）、3713-i1-2（再掲））
- ・ 入学者選抜確定志願状況における志願倍率（文部科学省公表）
- ・ 入学定員充足率（別添資料 3713-i8-1）
- ・ 指標番号 1～3、6～7（データ分析集）

富山大学都市デザイン学部 教育活動の状況

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- 学生受け入れ方針は大学ホームページにて公開しており、入学希望者が事前に確認できる状態としている。

卒業後の学生に対して予想される進路と、受験状況を分析して、北陸地区はもちろん、中京圏、関東圏の高校を中心に広報活動を積極的に行った結果、志願者倍率は2018、2019、2020年度ともに3倍を越えている。さらに、2018年度と2019年度の入学定員充足率は、3学科全てが102%~110%であり、定員を満たしている（別添資料 3713-i8-2）。[8.2]

<選択記載項目A 教育の国際性>

【基本的な記載事項】

- ・協定等に基づく留学期間別日本人留学生数（別添資料 3713-i4-4（再掲））
- ・指標番号3、5（データ分析集）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

（特になし）

<選択記載項目B 地域連携による教育活動>

【基本的な記載事項】

（特になし）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- 3学科共通科目「都市デザイン学総論」を実施して、地域の特徴を生かし、地球科学、都市交通、材料の観点からの都市づくりを考案できる学生を育成している。ゲストスピーカーを富山市職員に依頼するほか、最終回には一般社団法人立山黒部ジオパーク協会理事・事務局次長および専門員を招いた発表会を実施している。さらにCOC+対応の授業、例えば「富山のものづくり概論」において、富山県の重要な産業の一つである材料開発・製造を題材とし、歴史や現状を工学的な視点から教育している。特に都市・交通デザイン学科では、まちなか授業「都市の交通を支える建設技術の基礎知識」として、学部教員のみならず、富山市長や国土交通省職員、富山県職員からの講演も交え、都市・交通の課題と将来展望、都市と交通を支える構造力学、地盤工学水理・水工学の基礎知識、都市計画の現場を知る、フィールド実習、グループ討論とプレゼンテーションを実施している（別添資料 3713-iB-1）。

加えて2019年11月28~29日に「まちなかサテライトキャンパス」を開催した。この事業は、次年度から始まる地域の課題解決を目指すPBL授業およびそれをサポートする民間企業、自治体と大学からなるプラットフォームを市民にアピールする場となった（別添資料 3713-iB-2）。[B.1]

<選択記載項目 C 教育の質の保証・向上>

【基本的な記載事項】

(特になし)

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

○ GP 平均値の分布と成績評価の分布の相関を検討した。また、2018 年度に絶対評価と相対評価について情報収集を行い「各部局における成績評価分布の目標」を定めた。さらに GPA 制度を活用した進級・卒業要件等の検討を開始した。

また、2020 年-2021 年に3学科が日本技術者教育認定機構(JABEE)の審査を受けることを目指して、設置審査申請時からカリキュラム設計、学習教育到達目標の設定、評価方法を教務委員会、JABEE 検討ワーキンググループ会議を通して、全教員で検討している。とくに成績、単位の取得状況をレーダーチャートとして可視化し、学生自身が授業の取り方に異常がないかを把握できるシステムを第一期生から導入した。そしてその解析結果を学部教授会で全教員が情報共有して、改善策を立案するといった具体的な準備を進めている(別添資料 3713-iC-1)。[C.2]

<選択記載項目 D 学際的教育の推進>

【基本的な記載事項】

(特になし)

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

○ 令和2年度からの全学横断 PBL の実施に向けた、共通テーマ設定、実施方法の検討を実施している。また、平成30年度には、全学横断 PBL に先駆け「平成32年度から開講する「全学横断 PBL」の全学展開基盤づくりのためのシンポジウム「共感と協創、学際融合教育の未来のカタチ…全学横断 PBL の開講に向けて…」を開催し、他学部の教員への周知を図った(参加者数 60 名)(別添資料 3713-iD-1)。[D.1]

<選択記載項目 E リカレント教育の推進>

【基本的な記載事項】

- ・リカレント教育の推進に寄与するプログラムが公開されている刊行物、ウェブサイト等の該当箇所(別添資料 3713-iE-1)
- ・指標番号 2、4(データ分析集)

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

○ リカレント教育の重要性を考慮して、オープンクラスでの授業担当を毎年実施している。[E.1]

分析項目Ⅱ 教育成果の状況

<必須記載項目1 卒業（修了）率、資格取得等>

【基本的な記載事項】

- ・標準修業年限内卒業（修了）率（別添資料なし：平成30年度に新設した学部のため）
- ・「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率（別添資料なし：平成30年度に新設した学部のため）
- ・指標番号14～20（データ分析集）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

（特になし：平成30年度に新設した学部のため）

<必須記載項目2 就職、進学>

【基本的な記載事項】

- ・指標番号21～24（データ分析集）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

（特になし：平成30年度に新設した学部のため）

<選択記載項目A 卒業（修了）時の学生からの意見聴取>

【基本的な記載事項】

- ・学生からの意見聴取の概要及びその結果が確認できる資料（別添資料なし：平成30年度に新設した学部のため）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

（特になし：平成30年度に新設した学部のため）

<選択記載項目B 卒業（修了）生からの意見聴取>

【基本的な記載事項】

- ・卒業（修了）後、一定年限を経過した卒業（修了）生についての意見聴取の概要及びその結果が確認できる資料（別添資料なし：平成30年度に新設した学部のため）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

（特になし：平成30年度に新設した学部のため）

<選択記載項目 C 就職先等からの意見聴取>

【基本的な記載事項】

- ・就職先や進学先等の関係者への意見聴取の概要及びその結果が確認できる資料（別添資料なし：平成 30 年度に新設した学部のため）

【第 3 期中期目標期間に係る特記事項】

（特になし：平成 30 年度に新設した学部のため）

【参考】データ分析集 指標一覧

区分	指標番号	データ・指標	指標の計算式
1. 学生入学・在籍状況データ	1	女性学生の割合	女性学生数／学生数
	2	社会人学生の割合	社会人学生数／学生数
	3	留学生の割合	留学生数／学生数
	4	正規課程学生に対する科目等履修生等の比率	科目等履修生等数／学生数
	5	海外派遣率	海外派遣学生数／学生数
	6	受験者倍率	受験者数／募集人員
	7	入学定員充足率	入学者数／入学定員
	8	学部生に対する大学院生の比率	大学院生総数／学部学生総数
2. 教職員データ	9	専任教員あたりの学生数	学生数／専任教員数
	10	専任教員に占める女性専任教員の割合	女性専任教員数／専任教員数
	11	本務教員あたりの研究員数	研究員数／本務教員数
	12	本務教員総数あたり職員総数	職員総数／本務教員総数
	13	本務教員総数あたり職員総数(常勤、常勤以外別)	職員総数(常勤)／本務教員総数 職員総数(常勤以外)／本務教員総数
3. 進級・卒業データ	14	留年率	留年者数／学生数
	15	退学率	退学者・除籍者数／学生数
	16	休学率	休学者数／学生数
	17	卒業・修了者のうち標準修業年限内卒業・修了率	標準修業年限内での卒業・修了者数／卒業・修了者数
	18	卒業・修了者のうち標準修業年限×1.5年以内での卒業・修了率	標準修業年限×1.5年以内での卒業・修了者数／卒業・修了者数
	19	受験者数に対する資格取得率	合格者数／受験者数
	20	卒業・修了者数に対する資格取得率	合格者数／卒業・修了者数
	21	進学率	進学者数／卒業・修了者数
4. 卒業後の進路データ	22	卒業・修了者に占める就職者の割合	就職者数／卒業・修了者数
	23	職業別就職率	職業区分別就職者数／就職者数合計
	24	産業別就職率	産業区分別就職者数／就職者数合計

※ 一部の指標（指標番号8、12～13）については、国立大学全体の指標のため、学部・研究科等ごとの現況調査表の指標には活用しません。